

お盆の迎え方(新盆)

8月1日

◎ 庭先に水棚を設置する(8月24日まで)

- ・水棚 ……仏具店にあります
- ・施食旗 ……真光寺にあります(千円)
- ・葉付青竹 ……2m位の細めの物1本
- ・浄水 ……毎朝新しい水と取りかえる
- ・花しば(小)、蠟燭、線香など

◎ 祭壇

- ・祭壇を設け、菓子・夏の野菜・果物・素麺などを供える

◎ 盆提灯

- ・祭壇の前に飾りお灯をあげる

◎ 墓を掃除する

8月13日

◎ 祭壇にお霊供膳と団子を供える

◎ 夕方、墓で「松とぼし」を行う

縁者が墓前で、青竹を竹か石を図のようにして、おがらや割箸を燃やす。青竹が燃えてパンと音がしたら、墓からみ霊が出て来られると言われています。

◎ 自宅にもどり、水棚で「迎え火」をおこなう

①位牌を置く

②お供えをする

- ・迎え団子(あんや黄粉をまぶしたもの)
- ・水の子…茄子や胡瓜を賽の目に細かく刻み、洗ったお米と混ぜた物を蓮の葉(または里芋の葉)をお皿に盛る

③水棚の足元でおがらか割箸を焚き、線香を供えて皆でお参りする

④終わったら位牌を祭壇へもどす

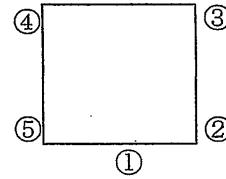
※この日は、午前10時より真光寺にて施食法要があります(別途郵便にて案内)

水棚



水棚の奥なつかしや親の顔

施食旗の貼り方



- ①南無多寶如来
- ②南無妙色身如来
- ③南無甘露王如来
- ④南無廣博身如来
- ⑤南無離怖畏如来

松とぼし

青竹 二節あるもの
直径2cmくらい
長さ30~40cm



竹または石

8月14日

◎ 祭壇にお霊供膳・水棚に水の子を供える

8月15日

◎ 祭壇にお霊供膳・水棚に水の子を供える

8月16日

◎ 祭壇にお霊供膳と団子・水棚に水の子を供える

◎ 本堂にお参りした後、お墓参りする

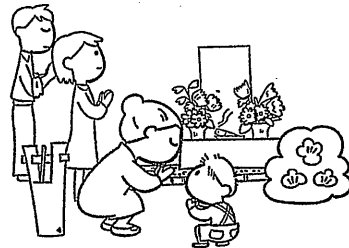
◎ 夕方、水棚で「送り火」をおこなう

①位牌を置く

②送り団子を供える(白い粉をまぶしたもの)

③水棚の足元でおがらか割箸を焚き、線香を供えて皆でお参りする

④終えたら位牌を祭壇へもどす



8月24日

◎ 全てのものを片付ける

- ・水棚に供えた全ての物は、河原か野原に投げます。これは餓鬼仏さんに供養するためです。
- ・青竹や施食旗は清浄な場所ではやして(燃やして)ください。
- ・水棚は3年間使用しますので直射日光を避け、新聞紙等に全体をきれいに包みしまっておいてください。

お盆について

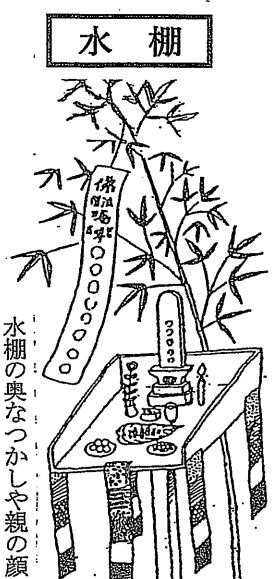
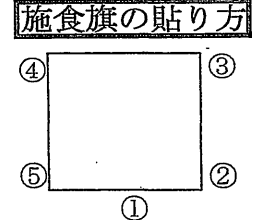
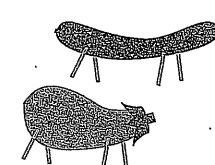
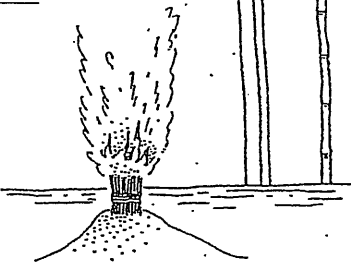
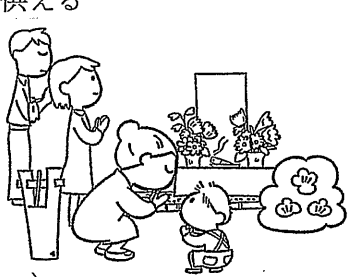
お盆は亡くなられた方のみ霊が我が家へ帰って来るといわれ、家族みなでお迎えするという昔から伝わっている仏教の尊い行事です。

亡くなられた方々のみ霊をはじめでお迎えするお盆のことを新盆(あらぼん)と申します。

先祖のみ霊はつねに私達子孫の行く末を見守り、家門の繁栄をきっと助けて下さることでしょう。

精霊まつりの仕方は地方によって多少の違いはありますが、当地方でのまつり方の一般的なものをまとめてみました。

お盆の迎え方(2・3年目の方)

| | | |
|--------------|--|---|
| <p>8月1日</p> | <p>◎ 庭先に水棚を設置する(8月16日まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水棚 …1年目に購入したものを使用 ・施食旗 …真光寺にあります(千円) ・葉付青竹 …2m位の細めの物1本 ・浄水 …毎朝新しい水と取りかえる ・花しば(小)、蠟燭、線香など <p>◎ 仏壇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏壇に菓子・夏の野菜・果物・素麺を供える <p>◎ 盆提灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏壇の前に飾りお灯をあげる <p>◎ 墓を掃除する</p> | <p>水棚</p>  <p>水棚の奥なつかしや親の顔</p> <p>施食旗の貼り方</p>  <ul style="list-style-type: none"> ① 南無多寶如来 ② 南無妙色身如来 ③ 南無甘露王如来 ④ 南無廣博身如来 ⑤ 南無離怖畏如来 |
| <p>8月13日</p> | <p>◎ 午前10時より真光寺にて施食法要があります(別途郵便にて案内)</p> | |
| <p>8月14日</p> | <p>◎ 仏壇にお霊供膳と団子を供える</p> <p>◎ 夕方、水棚で「迎え火」をおこなう</p> <p>① 位牌を置く</p> <p>② お供えをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迎え団子(あんや黄粉をまぶしたもの) ・水の子…茄子や胡瓜を賽の目に細かく刻み、洗ったお米と混ぜた物を蓮の葉(または里芋の葉)をお皿に盛る <p>③ 水棚の足元でおがらか割箸を焚き、線香を供えて皆でお参りする</p> <p>④ 終わったらお位牌を仏壇へもどす</p>  |  |
| <p>8月15日</p> | <p>◎ 仏壇にお霊供膳・水棚に水の子を供える</p> | <p>お盆について</p> |
| <p>8月16日</p> | <p>◎ 仏壇にお霊供膳と団子・水棚に水の子を供える</p> <p>◎ 本堂にお参りした後、お墓参りする</p> <p>◎ 夕方、水棚で「送り火」をおこなう</p> <p>① 位牌を置く</p> <p>② 送り団子を供える(白い粉をまぶしたもの)</p> <p>③ 水棚の足元でおがらか割箸を焚き、線香を供えて皆でお参りする</p> <p>④ 終えたらお位牌を仏壇へもどす</p> <p>◎ 仏壇や水棚の全てのものを片付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水棚に供えた全ての物は、河原か野原に投げます。これは餓鬼仏さんに供養するためです。 ・青竹や施食旗は清浄な場所ではやして(燃やして)ください <p>※3年目を終えた方は、水棚等は処分していただいて構いません。</p>  | <p>お盆は亡くなられた方のみ霊が我が家へ帰って来るといわれ、家族みんなでお迎えするという昔から伝わっている仏教の尊い行事です。</p> <p>亡くなられた方々のみ霊をはじめてお迎えするお盆のことを新盆(あらぼん)と申します。</p> <p>先祖のみ霊はつねに私達子孫の行く末を見守り、家門の繁栄をきっと助けて下さることでしょう。</p> <p>精霊まつりの仕方は地方によって多少の違いはありますが、当地方でのまつり方の一般的なものをまとめてみました。</p> |

新盆の方の迎え方は裏面にあります。